

【資料】

特別支援学校（聴覚障害）におけるキャリア教育の実態調査
一 幼稚部用一

学 校 名

このアンケート調査は、**幼稚部所属の主事（主任）1名、及びキャリア教育・進路指導の分掌部に所属されている先生1名（計2名）**に記入のご協力をお願いします。

必要に応じて行を増やしても構いません。

本調査は、(1) 回答者の基礎情報、(2) 関係機関等の連携、(3) 指導の実態から構成しています。回答結果については、回答者個人や学校が特定できないように統計的な処理をします。また、回答いただいた調査票は、鍵付きロッカーに適切に管理し、研究終了後は一定の期間を経た後に適切に廃棄します。

(参考)

キャリア教育の定義

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

キャリア発達の定義

社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を表現していく過程

※ 「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）（平成23年中央教育審議会）

(1) 本調査の回答者についてお尋ねします。当てはまるものを1つ選び、○をつけてください。

※ 平成28年5月1日現在でご記入ください。

①担当 () 学部主事 () キャリア教育担当者
②担任等 () 学級担任 () 副担任 () 学年所属 () 学部所属 () その他 ()
③教職経験年数 () 1～5年未満 () 5～10年未満 () 10～15年未満 () 15年以上
④特別支援教育（聴覚障害）経験年数 () 1～5年未満 () 5～10年未満 () 10～15年未満 () 15年以上
⑤特別支援教育（聴覚障害）以外の経験の有無 () ある () ない
⑥現在の勤務校在籍年数 () 1～5年未満 () 5～10年未満 () 10～15年未満 () 15年以上
⑦幼稚部の担当経験年数 () 1～5年未満 () 5～10年未満 () 10～15年未満 () 15年以上

(2) ※学部主事（主任）のみ、ご回答ください。

関係機関等についてお尋ねします。当てはまるものに○をつけてください。

①貴校と連携している福祉や行政機関・医療機関等を選択し（複数回答可）、主に連携している機関名をご回答ください。	() 福祉機関 () 行政機関 ()
	() 医療機関 () 労働機関 ()
	() 幼稚園・保育所 () 小学校
	() その他の教育機関 ()
②貴校では、修了生の交流を行っていますか。交流内容を具体的に「ご回答ください。」	() 行っている（交流内容： ()
	() 行っていない
③貴校では、修了生の保護者との交流を行っていますか。交流内容を具体的に「ご回答ください。」	() 行っている（交流内容： ()
	() 行っていない
④貴学部の在籍人数および、特別支援学校（聴覚障害）以外の保育所、幼稚園、療育機関等から入学した幼児の人数をご回答ください。	幼稚部の在籍人数 () 人 () 人
	特別支援学校（聴覚障害）以外から入学した幼児の人数 () 人

(3) 指導の実際についてお尋ねします。当てはまるものに○をつけてください。

①キャリア教育は、どのような教育活動の場で行われていますか。	() 自立活動 () 休み時間 () その他 ()
②貴学部で実施されているキャリア教育に関する指導内容を、個別指導、集団指導の場でそれぞれ何を行っていませんか。	個別指導 () () キャリア教育は、個別指導で行っていない () 集団指導 ()
③キャリア教育を実施する際に参考にしていない資料はありますか。主に参考にしていない資料名をご回答ください。	() 市販のテキスト () () 公共機関、企業等による刊行物 () () 自主制作教材 () その他 ()

④キャリア教育を実施する際に参考にしたいと思われる資料の内容は何ですか。
⑤キャリア教育を進めるにあたり個別の指導計画(個別の教育支援計画を含む)の活用内容をご回答ください。 どなたが活用していますか () 学級担任 () 学部の全教員 () その他 () どのように活用していますか () () 特に活用していない
⑥キャリア教育の推進・充実のために学部で課題であると思われるものを、以下の事項から3つ以内で選択してください。 () 早期からの系統的な指導 () 家庭の理解や協力 () 地域、進路先等との連携 (例：一本化された窓口、経験者の配置等) () キャリア教育の教育課程上の位置づけ () キャリア教育に関する情報の十分な保有 () キャリア教育に関する指導体制の明確化 () キャリア教育に関する評価基準の保有 () その他 ()
⑦キャリア教育に関して、1. 貴学部で特に重視して取り組んでいる指導内容、2. 今後考慮する必要があると思われる指導内容をそれぞれ3つ以内で選択してください。(双方で回答が重複しても結構です)。 1. 特に重視して取り組んでいる指導内容 () 基本的マナー (挨拶、身だしなみ等) () 他者への配慮、思いやり () 協調性 () 忍耐力 (がまん等) () 責任感 () 規則遵守 () コミュニケーション意欲 () 指示理解力 () その他 () 2. 今後考慮する必要があると思われる指導内容 () 基本的マナー (挨拶、身だしなみ等) () 他者への配慮、思いやり () 協調性 () 忍耐力 (がまん等) () 責任感 () 規則遵守 () コミュニケーション意欲 () 指示理解力 () その他 ()

⑧貴学部で実施されているキャリア教育に関わる指導内容の評価方法をご回答ください。 () 個別の指導計画に反映させている () 学部会等で話題にしている () 行っていない () その他 ()
--

これで終わります。ご協力ありがとうございました。

【資料】

特別支援学校（聴覚障害）におけるキャリア教育の実態調査
一小学部用一

学 校 名

このアンケート調査は、**小学部所属の主事（主任）1名、及びキャリア教育・進路指導の分掌部に所属されている先生1名（計2名）**に記入のご協力をお願いします。

必要に応じて行を増やしても構いません。

本調査は、(1) 回答者の基礎情報、(2) 関係機関等の連携、(3) 指導の実態から構成しています。回答結果については、回答者個人や学校が特定できないように統計的な処理をします。また、回答いただいた調査票は、封付きロッカーに適切に管理し、研究終了後は一定の期間を経た後に適切に廃棄します。

(参考)

キャリア教育の定義

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

キャリア発達の意味

社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を實現していく過程

※ 「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）（平成23年中央教育審議会）」

(1) 本調査の回答者についてお尋ねします。当てはまるものを1つ選び、○をつけてください。

※ 平成28年5月1日現在でご記入ください。

①担当 () 学部主事 () キャリア教育担当者
②担任等 () 学級担任 () 副担任 () 学年所属 () 学部所属 () その他 ()
③教職経験年数 () 1～5年未満 () 5～10年未満 () 10～15年未満 () 15年以上
④特別支援教育（聴覚障害）経験年数 () 1～5年未満 () 5～10年未満 () 10～15年未満 () 15年以上
⑤特別支援教育（聴覚障害）以外の経験の有無 () ある () ない
⑥現在の勤務校在籍年数 () 1～5年未満 () 5～10年未満 () 10～15年未満 () 15年以上
⑦小学部の担当経験年数 () 1～5年未満 () 5～10年未満 () 10～15年未満 () 15年以上

(2) ※学部主事（主任）のみ、ご回答ください。

関係機関等についてお尋ねします。当てはまるものに○をつけてください。

①貴校と連携している福祉や行政機関・医療機関等を選択し（複数回答可）、主に連携している機関名をご回答ください。	() 福祉機関 () 行政機関 ()
	() 医療機関 () 労働機関 ()
	() 幼稚園・保育所 () 小学校 () 中学校
	() その他の教育機関 ()
②貴校では、卒業生との交流を行っていますか。交流内容を具体的に「ご回答ください。」	() 行っている（交流内容：)
	() 行っていない
③貴校では、卒業生の保護者との交流を行っていますか。交流内容を具体的に「ご回答ください。」	() 行っている（交流内容：)
	() 行っていない
④貴学部の在籍人数および、特別支援学校（聴覚障害）以外の学校から入学した児童の人数をご回答ください。	小学部の在籍人数 () 人
	特別支援学校（聴覚障害）以外の学校から入学した児童の人数 () 人

(3) 指導の実態についてお尋ねします。当てはまるものに○をつけてください。

①キャリア教育は、どのような教育活動の場で行われていますか。	() 教科指導 () 自立活動 () 総合的な学習の時間
	() 特別活動 () 道徳 () 休み時間
	() その他 ()
②貴学部で実施されているキャリア教育に関する指導内容を、個別指導、集団指導の場でそれぞれ何を行っていますか。	個別指導 ()
	() キャリア教育は、個別指導で行っていない
	集団指導 ()
	() キャリア教育は、集団指導で行っていない

<p>③キャリア教育を実施する際に参考している資料はありますか。主に参考している資料名をご回答ください。</p> <p>い。</p> <p>() 市販のテキスト ()</p> <p>() 公共機関、企業等による刊行物 ()</p> <p>() 自主制作教材 () その他 ()</p>
<p>④キャリア教育を実施する際に参考にしたいと思われる資料の内容は何ですか。</p>
<p>⑤キャリア教育を進めるにあたり個別の指導計画(個別の教育支援計画を含む)の活用内容をご回答ください。</p> <p>どなたが活用していますか</p> <p>() 学級担任 () 学部の全教員 () その他 ()</p> <p>どのように活用していますか ()</p> <p>() 特に活用していない</p>
<p>⑥キャリア教育の推進・充実のために学部で課題であると思われるものを、以下の事項から<u>3つ以内</u>で選択してください。</p> <p>() 早期からの系統的な指導</p> <p>() 家庭の理解や協力</p> <p>() 地域、進路先等との連携 (例：一本化された窓口、経験者の配置等)</p> <p>() キャリア教育の教育課程上の位置づけ</p> <p>() キャリア教育に関する情報の十分な保有</p> <p>() キャリア教育に関する指導体制の明確化</p> <p>() キャリア教育に関する評価基準の保有</p> <p>() その他 ()</p>
<p>⑦キャリア教育に関して、1.貴学部で特に重視して取り組んでいる指導内容、2.今後考慮する必要があると思われる指導内容をそれぞれ<u>3つ以内</u>で選択してください (双方で回答が重複しても結構です)。</p> <p>1.特に重視して取り組んでいる指導内容</p> <p>() 基本的マナー (挨拶、身だしなみ等) () 他者への配慮、思いやり</p> <p>() 協調性 () 自己判断力 () 忍耐力 (がまん等)</p> <p>() 責任感 () 問題解決力 () 素直さ</p> <p>() 規則遵守 () コミュニケーション意欲</p> <p>() 自己表出力 () 指示理解力 () 学習意欲 (主体性)</p> <p>() その他 ()</p>

<p>2. 今後考慮する必要があると思われる指導内容</p> <p>() 基本的マナー (挨拶、身だしなみ等) () 他者への配慮、思いやり</p> <p>() 協調性 () 自己判断力 () 忍耐力 (がまん等)</p> <p>() 責任感 () 問題解決力 () 素直さ</p> <p>() 規則遵守 () コミュニケーション意欲</p> <p>() 自己表出力 () 指示理解力 () 学習意欲 (主体性)</p> <p>() その他 ()</p>
<p>⑧貴学部で実施されているキャリア教育に関わる指導内容の評価方法をご回答ください。</p> <p>() 個別の指導計画に反映させている</p> <p>() 学部会等で話題にしている</p> <p>() 行っていない</p> <p>() その他 ()</p>
<p>⑨重複学級に在籍している児童に対しキャリア教育に関して、どのような指導を行っていますか。</p>

これで終わりです。ご協力ありがとうございました。

【資料】

特別支援学校（聴覚障害）におけるキャリア教育の実態調査
一 中学部用一

学 校 名

このアンケート調査は、**中学部所属の主事（主任）1名、及びキャリア教育・進路指導の分掌部に所属されている先生1名（計2名）**に記入のご協力をお願いします。

必要に応じて行を増やしても構いません。

本調査は、（1）回答者の基礎情報、（2）関係機関等の連携、（3）指導の実態から構成しています。回答結果については、回答者個人や学校が特定できないように統計的な処理をします。また、回答いただいた調査票は、謝付きロッカーに適切に管理し、研究終了後は一定の期間を経た後に適切に廃棄します。

（参考）

キャリア教育の定義

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

キャリア発達 の定義

社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を表現していく過程

※ 「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）（平成23年中央教育審議会）

（1） 本調査の回答者についてお尋ねします。当てはまるものを1つ選び、○をつけてください。

※ 平成28年5月1日現在でご記入ください。

①担当 () 学部主事 () キャリア教育担当者
②担任等 () 学級担任 () 副担任 () 学年所属 () 学部所属 () その他 ()
③教職経験年数 () 1～5年未満 () 5～10年未満 () 10～15年未満 () 15年以上
④特別支援教育（聴覚障害）経験年数 () 1～5年未満 () 5～10年未満 () 10～15年未満 () 15年以上
⑤特別支援教育（聴覚障害）以外の経験の有無 () ある () ない
⑥現在の勤務校在籍年数 () 1～5年未満 () 5～10年未満 () 10～15年未満 () 15年以上
⑦中学部の担当経験年数 () 1～5年未満 () 5～10年未満 () 10～15年未満 () 15年以上

（2） ※学部主事（主任）のみ、ご回答ください。

関係機関等についてお尋ねします。当てはまるものに○をつけてください。

①貴校と連携している福祉や行政機関・医療機関等を選択し（複数回答可）、主に連携している機関名をご回答ください。	() 福祉機関 () 行政機関 ()
	() 医療機関 () 労働機関 ()
	() 幼稚園・保育所 () 小学校 () 中学校 () 高等学校
	() その他の教育機関 ()
②貴校では、卒業生との交流を行っていますか。交流内容を具体的に「ご回答ください。」	() 行っている（交流内容：)
	() 行っていない
③貴校では、卒業生の保護者との交流を行っていますか。交流内容を具体的に「ご回答ください。」	() 行っている（交流内容：)
	() 行っていない
④貴学部の在籍人数および、特別支援学校（聴覚障害）以外の学校から入学した生徒の人数をご回答ください。	中学部の在籍人数 () 人
	特別支援学校（聴覚障害）以外の学校から入学した生徒の人数 () 人

（3） 指導の実態についてお尋ねします。当てはまるものに○をつけてください。

①キャリア教育は、どのような教育活動の場で行われていますか。	() 教科指導 () 自立活動 () 総合的な学習の時間
	() 特別活動 () 道徳 () 休み時間
	() その他 ()
②貴学部で実施されているキャリア教育に関する指導内容を、個別指導、集団指導の場でそれぞれ何を行って	ますか。
個別指導 ()	
() キャリア教育は、個別指導で行っていない	
集団指導 ()	
() キャリア教育は、集団指導で行っていない	

<p>③キャリア教育を実施する際に参考している資料はありますか。主に参考になっている資料名をご回答ください。</p> <p>い。</p> <p>() 市販のテキスト ()</p> <p>() 公共機関、企業等による刊行物 ()</p> <p>() 自主制作教材 () その他 ()</p>
<p>④キャリア教育を実施する際に参考にしたいと思われる資料の内容は何ですか。</p>
<p>⑤キャリア教育を進めるにあたり個別の指導計画(個別の教育支援計画を含む)の活用内容をご回答ください。</p> <p>どなたが活用していますか</p> <p>() 学級担任 () 学部の全教員 () その他 ()</p> <p>どのように活用していますか ()</p> <p>() 特に活用していない</p>
<p>⑥キャリア教育の推進・充実のために学部で課題であると思われるものを、以下の事項から<u>3つ以内</u>で選択してください。</p> <p>() 早期からの系統的な指導</p> <p>() キャリア教育に関する家庭への理解の啓発</p> <p>() 家庭の協力</p> <p>() 地域、進路先等との連携 (例：一本化された窓口、経験者の配置等)</p> <p>() キャリア教育の教育課程上の位置づけ</p> <p>() キャリア教育に関する情報の十分な保有</p> <p>() キャリア教育に関する指導体制の明確化</p> <p>() キャリア教育に関する評価基準の保有</p> <p>() その他 ()</p>
<p>⑦キャリア教育に関して、1. 貴学部で特に重視して取り組んでいる指導内容、2. 今後考慮する必要があると思われる指導内容をそれぞれ<u>3つ以内</u>で選択してください (双方で回答が重複しても結構です)。</p> <p>1. 特に重視して取り組んでいる指導内容</p> <p>() 基本的マナー () 他者への配慮、思いやり</p> <p>() 協調性 () 自己判断力 () 忍耐力</p> <p>() 責任感 () 問題解決能力 () 素直さ</p> <p>() 規則遵守 () コミュニケーション意欲</p> <p>() 自己表出能力 () 指示理解能力 () 学習意欲</p> <p>() その他 ()</p>

<p>2. 今後考慮する必要があると思われる指導内容</p> <p>() 基本的マナー () 他者への配慮、思いやり</p> <p>() 協調性 () 自己判断力 () 忍耐力</p> <p>() 責任感 () 問題解決能力 () 素直さ</p> <p>() 規則遵守 () コミュニケーション意欲</p> <p>() 自己表出能力 () 指示理解能力 () 学習意欲</p> <p>() その他 ()</p>
<p>⑧貴学部で実施されているキャリア教育に関わる指導内容の評価方法をご回答ください。</p> <p>() 個別の指導計画に反映させている</p> <p>() 学部会等で話題にしている</p> <p>() 行っていない</p> <p>() その他 ()</p>
<p>⑨重複学級に在籍している生徒に対しキャリア教育に関して、どのような指導を行っていますか。</p>

これで終わりです。ご協力ありがとうございました。

【資料】

特別支援学校（聴覚障害）におけるキャリア教育の実態調査
一 高等部用一

学 校 名

このアンケート調査は、**高等部所属の主事（主任）1名、及びキャリア教育・進路指導の分掌部に所属されている先生1名（計2名）**に記入のご協力をお願いします。

必要に応じて行を増やしても構いません。

本調査は、(1) 回答者の基礎情報、(2) 関係機関等の連携、(3) 指導の実態から構成しています。回答結果については、回答者個人や学校が特定できないように統計的な処理をします。また、回答いただいた調査票は、継続きロッカーに適切に管理し、研究終了後は一定の期間を経た後に適切に廃棄します。

(参考)

キャリア教育の定義

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

キャリア発達の定義

社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を表現していく過程

※ 「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）（平成23年中央教育審議会）」

(1) 本調査の回答者についてお尋ねします。当てはまるものを1つ選び、○をつけてください。

※ 平成28年5月1日現在でご記入ください。

①担当 () 学部主事 () キャリア教育担当者
②担任等 () 学級担任 () 副担任 () 学年所属 () 学部所属 () その他 ()
③教職経験年数 () 1～5年未満 () 5～10年未満 () 10～15年未満 () 15年以上
④特別支援教育（聴覚障害）経験年数 () 1～5年未満 () 5～10年未満 () 10～15年未満 () 15年以上
⑤特別支援教育（聴覚障害）以外の経験の有無 () ある () ない
⑥現在の勤務校在籍年数 () 1～5年未満 () 5～10年未満 () 10～15年未満 () 15年以上
⑦高等部の担当経験年数 () 1～5年未満 () 5～10年未満 () 10～15年未満 () 15年以上

(2) ※学部主事（主任）のみ、ご回答ください。

貴校の高等部（本科）卒業生の進路についてお尋ねします。

() の中に、具体的に数字や内容を記入してください。

①貴校の現在の高等部に設置されている学科名と在籍数をご記入ください。

(記入例：機械科 4名、被服科 5名 等)

() 科 () 名、	() 科 () 名
() 科 () 名、	() 科 () 名
() 科 () 名、	() 科 () 名

②過去3年間の学校卒業後の進路先についてご回答ください。

卒業生総数 () 名

専攻科進学者 () 名 大学進学者 () 名 専門学校・各種学校 () 名

企業等への就労 () 名 職業訓練校 () 名 福祉施設 () 名

その他 () 名 ()

③貴学部の在籍人数および、特別支援学校（聴覚障害）以外の学校から入学した生徒の人数をご回答ください。

高等部の在籍人数 () 人

特別支援学校（聴覚障害）以外の学校から入学した生徒の人数 () 人

(3) ※学部主事（主任）のみ、ご回答ください。

関係機関等についてお尋ねします。当てはまるものに○をつけてください。

①貴校と連携している福祉や行政機関・医療機関等を選択し（複数回答可）、主に連携している機関名をご回答ください。

() 福祉機関 () 行政機関 ()
() 医療機関 () 労働機関 ()
() 小学校 () 中学校 () 高等学校 ()
() その他の教育機関 ()

②貴校では、卒業生との交流を行っていますか。交流内容を具体的にご回答ください。

() 行っている（交流内容：)

() 行っていない

③貴校では、卒業生の保護者との交流を行っていますか。交流内容を具体的にご回答ください。

() 行っている（交流内容：)

() 行っていない

(4) 指導の実際についてお尋ねします。当てはまるものに○をつけてください。

①キャリア教育は、どのような教育活動の場等で行われていますか。

() 教科指導 () 自立活動 () 総合的な学習の時間
 () 特別活動 () 道徳 () 休み時間
 () その他 ()

②貴学部で実施されているキャリア教育に関わる指導内容を、個別指導、集団指導の場でそれぞれ何を行っている
 ますか。

個別指導 ()
 () キャリア教育は、個別指導で行っていない
 集団指導 ()
 () キャリア教育は、集団指導で行っていない

③キャリア教育を実施する際に参考している資料はありますか。主に参考している資料名をご回答くださ
 い。

() 市販のテキスト ()
 () 公共機関、企業等による刊行物 ()
 () 自主制作教材 () その他 ()

④キャリア教育を実施する際に参考にしたと思われる資料の内容は何ですか。

⑤キャリア教育を進めるにあたり個別の指導計画(個別の教育支援計画を含む)の活用内容をご回答ください。
 どなたが活用していますか
 () 学級担任 () 学部の全教員 () その他 ()
 どのように活用していますか ()
 () 特に活用していない

⑥キャリア教育の推進・充実のために学部で課題であると思われるものを、以下の事項から3つ以内で選択して
 ください。

() 早期からの系統的な指導
 () キャリア教育に関する家庭への理解の啓発
 () 家庭の協力
 () 地域、進路先等との連携(例：一本化された窓口、経験者の配置等)
 () キャリア教育の教育課程上の位置づけ
 () キャリア教育に関する情報の十分な保有
 () キャリア教育に関する指導体制の明確化
 () キャリア教育に関する評価基準の保有
 () その他 ()

⑦キャリア教育に関して、1. 貴学部で特に重視して取り組んでいる指導内容、2. 今後考慮する必要があると思わ
 れる指導内容をそれぞれ3つ以内で選択してください(双方で回答が重複しても結構です)。

1. 特に重視して取り組んでいる指導内容

() 基本的マナー () 他者への配慮、思いやり
 () 協調性 () 自己判断力 () 忍耐力
 () 責任感 () 問題解決能力 () 素直さ
 () 規則遵守 () コミュニケーション意欲
 () 自己表出能力 () 指示理解能力 () 学習意欲
 () その他 ()

2. 今後考慮する必要があると思われる指導内容

() 基本的マナー () 他者への配慮、思いやり
 () 協調性 () 自己判断力 () 忍耐力
 () 責任感 () 問題解決能力 () 素直さ
 () 規則遵守 () コミュニケーション意欲
 () 自己表出能力 () 指示理解能力 () 学習意欲
 () その他 ()

<p>⑨高等部に在籍している生徒が、学校卒業後、継続的に進学や就労するためには、どのようなことが重要とお考えですか。それぞれ3つ以内で選択してください(該当する項目欄に○をつけてください。)</p>	
<p>1. 進路</p>	<p>() 卒業後も継続的に本人に対してフォローを行う () 卒業後も継続的に進学先に対してフォローを行う () 障害特性に応じた学習環境が整備されている () 必要に応じて連携を行う () 卒業後、日常生活上の配慮(仲間づくり等)がなされている () 保護者が協力的である () 障害への理解を促すための啓発や取り組みが行われている () 本人のパーソナリティや態度が、周囲(教員、仲間等)に理解をもって受け止められている () 周囲(教員、仲間等)が聴覚障害を理解しようとしている () 障害のある仲間がいる () 通学可能な場所にある () 情報保障を得られる環境がある () 福祉情報を適切に得られる環境がある () カウンセリングを受けられる環境がある () その他()</p>
<p>2. 就労</p>	<p>() 卒業後も継続的に本人に対してフォローを行う () 卒業後も継続的に就労先に対してフォローを行う () 障害特性に応じた業務(作業)環境が整備されている () 必要に応じて連携を行う () 卒業後、日常生活上の配慮(仲間づくり等)がなされている () 保護者が協力的である () 障害への理解を促すための啓発や取り組みが行われている () 本人のパーソナリティや態度が、周囲(上司、仲間等)に理解をもって受け止められている () 周囲(上司、仲間等)が聴覚障害を理解しようとしている () 障害のある仲間がいる () 通学可能な場所にある () 情報保障を得られる環境がある () 福祉情報を適切に得られる () カウンセリングを受けられる環境がある () その他()</p>

<p>⑩貴学部で実施されているキャリア教育に関わる指導内容の評価方法をご回答ください。</p>	<p>() 個別の指導計画に反映させている () 学部会等で話題にしている () 行っていない () その他()</p> <p>⑩重複学級に在籍している生徒に対しキャリア教育に関して、どのような指導を行っていますか。</p>
---	--

これで終わりです。ご協力ありがとうございました。